

第3章 市の目指す方向性

国や東京都の方針，調布市立中学校の現状を踏まえ，部活動の地域連携・地域移行に取り組み，生徒たちにとって魅力あるスポーツ・文化芸術活動を確保するとともに，教員の負担軽減につながる取組を進めるため，市の目指す方向性を定めます。

1 目指す将来像

「地域の子どもたちは，学校を含めた地域で育てる」という意識の下，調布の地域資源を活用した持続可能な地域クラブを整備することで，部活動を学校教育活動から地域に移行し，生徒が生涯にわたって地域の中で主体的に様々なスポーツ・文化芸術活動を楽しむことができるまちづくりが進められている。

2 推進目標

令和9年度以降，可能な限り早期に，全ての休日部活動において地域連携か地域移行を実施し，生徒が地域人材等※による技術指導を受けられている。

※兼職・兼業の届出により部活動指導を行う教員を含みます。

なお，当面は地域連携・地域移行の取組が併存しますが，徐々に地域移行の取組を拡充させていきます。

部活種別	前期計画期間			後期計画期間			
	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
① 通常部活動 (休日の活動) ※教員指導	・徐々に減少						
② 地域連携 (休日の活動) ※外部指導者指導	・外部人材による指導の拡充 ・合同部活動の実施						
③ 地域移行 (休日の活動) ※地域クラブ活動	・モデル事業等を踏まえ取組を推進			可能な限り早期に 全ての休日部活動において 地域連携か地域移行を実施 ⇒徐々に地域移行を拡充			

※東京都推進計画が示す推進目標を踏まえ，改革推進期間において，市内の全市立中学校で，地域や学校の実情に応じ休日における段階的な地域連携・地域移行の取組を行います。

【東京都推進計画における推進目標（令和6年3月）】
令和7年度末までに，都内全ての公立中学校等で，地域や学校の実態に応じ，地域連携・地域移行に向けた取組が行われていることを目指すとともに，休日に教員が部活動の指導に携わる必要がない環境の構築を，段階的かつ可能な限り早期に実現していく。

※その他，後期計画期間(令和9年度～12年度)において平日の部活動の取組を進め，

令和12年度以降，可能な限り早期に，平日を含む全ての部活動において，地域連携か地域移行の実施を目指します。

《(参考資料)学校部活動の地域連携, 地域移行(地域クラブ活動)の考え方》
 ※スポーツ庁資料

① 部活動の地域連携って?

複数校でまとまって一つの部活動とする合同部活動の導入や、部活動指導員等の地域の人材を活用することにより、あくまで学校で運営・実施しつつも、生徒の活動機会を確保するものです。



② 部活動の地域移行って?

地域の多様な主体が運営・実施する地域クラブ活動によって、部活動を代替するものです。学校とも連携しながら、多様な活動を、可能な限り低廉な会費で実施します。



③ 部活動と「地域クラブ活動」はどこが違うの?



- ・学校が主体となつて行われる部活動
- ・学校の中で実施
- ・複数校でまとまって一つの部活動を行う合同部活動の導入や、部活動指導員等の地域の人材を活用すること(地域連携)を推奨

- ・地域が主体となつて行われる活動
- ・市民体育館、公民館、学校体育施設など、多様な場所で実施
- ・多世代・多様な活動

学校単位での部活動 例:○○中学校での部活動



地域クラブ活動 例:○○市町村での地域クラブ活動

